

様式第4号（第5条関係）

平成27年 4月 10 日

古賀市議会議長

議員名 船越義彰



平成26年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成26年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
 - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
 - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
 - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成26年度政務活動費収支報告書

議員名 船越義彰

1 収入

政務活動費 120,000円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費	119,285	1, 2, 3,
研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費	9,853	4,
事務費		
支出合計	129,138	

3 残額 0円

別紙2

平成26年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	4月21日 ～ 23日	沖縄県那覇市宜野湾 市 視察研修	37,200	
2	5月26日 ～28日	東京都板橋区新宿区 視察研修	53,300	
3	8月6日 ～7日	岡山県総社市 岡山市視察研修	28,785	
4	平成26年4月 ～平成27年3 月	新聞購読料 赤旗 日曜版	9,853	
5				
6				
7				
8				

※研修及び視察には報告書を添付のこと

番号 1

No 077515

領 収 証

船越義彰 様

2014年04月14日

金額 737200

収 入
印 紙

但し 旅費として

上記の金額正に領収致しました

請求№	
現金	
内 小切手	
訳 振 込	
相 殺	

JOY TRAVEL
 ジョイトラベル
 〒811-3103 福岡県古賀市中央1丁目6-40
 tel (092)943-1355
 fax (092)943-1366

係 印

1	4月21日 ~ 23日	沖縄県那覇市宜野湾 市 視察研修	37,200
2	5月26日 ~ 28日	東京都板橋区新宿区 視察研修	53,300

番号 2

No 077544

領 収 証

船越義彰 様

2014年5月8日

金額 753300

収入印紙
200円

但し 旅費として

上記の金額正に領収致しました

請求№	18121
現金	✓
内 小切手	
訳 振 込	
相 殺	

JOY TRAVEL
 ジョイトラベル
 〒811-3103 福岡県古賀市中央1丁目6-40
 tel (092)943-1355
 fax (092)943-1366

係 印

イオ スケロ		ご一行様							
月/日	ご旅程	お食事							
4/21(月)	福岡 [07:20] → 沖縄/那覇 [08:55] JTA 0051便 普通 別紙 JAL eチケット控/航空引換証をご覧ください。								
4/21(月)	福岡 [07:40] → 沖縄/那覇 [09:20] ANA 0481便 普通 別紙 eチケットお客様控 (航空引換証) をご覧ください。								
4/21(月) ~ 4/22(火)	ホテルパームロイヤルNAHA (仰天SALE! 那覇 3日間 Bグループ)	チェックイン 14:00 到着予定時間 18:00	<table border="1"> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>朝</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	-	-	-	朝	-	-
-	-	-							
朝	-	-							
【旅・整A】									
4/22(火) ○ 4/23(水)	ホテルパームロイヤルNAHA (仰天SALE! 那覇 3日間 Bグループ)	チェックアウト 11:00	<table border="1"> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>朝</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	-	-	-	朝	-	-
-	-	-							
朝	-	-							
【旅】									
4/23(水)	沖縄/那覇 [13:30] → 福岡 [15:15] JTA 0054便 普通 別紙 JAL eチケット控/航空引換証をご覧ください。								
4/23(水)	沖縄/那覇 [20:05] → 福岡 [21:40] JTA 0062便 普通 別紙 JAL eチケット控/航空引換証をご覧ください。								

ご案内	
<p>◎各行程欄の記号ご説明 【旅】ご利用の際は施設にこの旅程表をご提示ください。 【整A】エースJTB整理票【A】に記載された内容をご確認の上、該当の施設にご提出ください。 ◎ご到着時間を変更される場合は、宿泊施設へご連絡ください。 ◎この旅程表はお客様が旅行サービスの提供を受けるために必要です。旅行中は必ず携行の上、必要に応じて係員にご提示ください。◎悪天候等によりサービス内容の変更を必要とする事由が生じた場合、代替手配等必要な手続きはお客様自身で行っていただきます。◎パンフレット(おおすすめポイント内)に宿でのおもてなしの記載があり、ご利用を希望される場合は現地宿にてお申出ください。 ◎別紙『ご旅行にあたっての注意事項』を併せてご覧ください。BOX#83000 【航空機(IIT)ご利用のお客様へ】 同日乗継ぎ行程のある場合は、出発空港の有人カウンターにて最終目的地までのご搭乗手続きをしてください。 【福岡空港よりご出発のお客様へ】 別紙『福岡空港旅行者専用駐車場利用割引のご案内』をご覧ください。BOX#83001</p>	

ご利用案内	
4/21 仰天SALE! 那覇 3日間 Bグループ 那覇(8715-049) ~2泊 ホテルパームロイヤルNAHA セミダブル 1泊朝食 セミダブル 5室 (バス・トイレ付) 人員: 大人 5名 住所: 那覇市牧志3-9-10 電話: 098-865-5551 交通: 【公共交通機関利用】那覇空港→モノレール首里方面行約16分牧志駅下車→徒歩約3分 またはタクシー約30分	(17KZ013-B) 代表者氏名: イオ スケロ様 SUXEJH-01 TUXEJH-01

番号 3

領 収 証

No. 436640 I

RECEIPT

平成 26年 7月 24日

ご氏名 舟越義彰 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ￥28,785-

ただし 8/6 (岡山行) 旅行代

上記金額正に領収いたしました。

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(レバカード) (X)
- 5. その他()

30,000円以上
収入印紙

株式会社 旅行 中洲川端 営業本部 支店

NIPPON TRAVEL CO., LTD.

責任者印

担当者名

3	8月6日 ~7日	岡山県総社市 岡山市視察研修	28,785
---	-------------	-------------------	--------

柴尾 様

ご予約内容のご案内



この度は、日本旅行 中洲川端支店をご利用いただきましてありがとうございます。
ご旅行の内容は下記の通りです。ご確認くださいませ。

<コース名>	予約番号
山陽・四国・山陰フリー&ビジネス	061559273

●交通

日付	出発地	到着地	列車名	出発時間	到着時間	
8/6(水)	博多	岡山	のぞみ20号	10:05	11:48	
8/7(木)	岡山	博多	のぞみ39号	17:31	19:14	

●宿泊

日付	泊数	地区名	ホテル名	食率	室タイプ	室数
8/6(水)	1	岡山	ホテルグランヴィア岡山	朝	シングル	5

●旅行代金

内訳	金額	人数	合計
大人	28,800 円	5	144,000 円
JAF割引	▲ 1,440 円	5	▲ 7,200 円
		4	
ご請求額			136,800 円

<お支払済>

◇参加者(5名)

- ①シバオ イクエ様
- ②アナガワ サツキ様
- ③イイオ スケヒロ様
- ④ニシオ コウジ様
- ⑤フナコシ ヨシアキ様

※7/16(水)18:30以降のご変更・お取消しにつきましてはキャンセル料が発生致します。

【お問い合わせ】

日本旅行中洲川端支店
〒810-0801
福岡県福岡市博多区中洲5丁目1-1(日本旅行ビル1F)
☎092-271-5066 FAX092-271-5158
営業時間 平日10:00~18:30(土日祝日休業)
ホームページ <http://www.nta.co.jp> Eメール fukuokatr_center@nta.co.jp

2014/6/4

番号 4

811-3134
福岡県古賀市青柳2704-1

船越 義彰 様

領 収 書

2015年 1月31日

811-31
宗像・粕屋地区委員会
古賀市花見南2丁目27-31
TEL 092-942-6130

船越 義彰 様

下記の金額を確かにいただきました。
ありがとうございました。

領収総額 9,853円

品名	年月度	数量	単価	領収金額	備考
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年 4月分	1	800	800	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年 5月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年 6月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年 7月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年 8月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年 9月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年10月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年11月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2014年12月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2015年 1月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2015年 2月分	1	823	823	
「しんぶん赤旗」日曜版	2015年 3月分	1	823	823	
合計				9,853	

支出内訳書の番号 1-A

調査研究報告書

1 名称	沖縄県那覇市「ナハノホイク」視察
2 目的	那覇市内の公立、私立の認可・認可外の保育施設の情報を発信するサイトの設置について視察するため
3 実施時期	平成26年4月21日(月)午後
4 実施場所	沖縄県那覇市役所
5 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6 その他	認可外の保育施設まで含めて発信するところが特徴的である。(別紙報告書あり)

6

6

那覇市役所行政視察報告

平成26年4月21日（月）

テーマ：保育施設総合情報サイト「ナハノホイク」について

はじめに議会事務局の高江洲主査、石橋主査より、那覇市の概要について説明があった。続いて那覇市こどもみらい部こどもみらい課の武元主幹より標題の「ナハノホイク」についての説明があった。

公立保育園9、私立保育園61、認可外保育園91あり、公立幼稚園は36、私立幼稚園は6あり。待機児童は現在447名で若干増加傾向にある。人口当たりの待機児童数では中核市で全国1位。認可外の91のうち16園が独自にネットに情報を出しているが、あとは出しておらず。

ナハノホイクの事業内容としては、あまり出されていなかった認可外保育所の情報を中心として公立保育園の情報もあわせて発信。各園の所在地、保育料金、保育の特徴などの情報。システム構築の当初予算は約2500万、維持経費は年間250万ほどかかり、今後バナー広告も検討している。

取り入れたきっかけは、担当部署への相談に認可外保育所を探し

ている市民の方も多いたため、市民へのわかりやすい情報提供を試みようとの思いで取り組み始めた。地元の関連する団体としては、認可園の月1回の園長会の中で説明を行った（公立・私立は別々）。認可外に関してはまとまった団体がないため、H25年11月に説明会を開催、周知を行った。市民の反響は良く、関心を持っている市民は多い様子。一日50人ほどが閲覧、土日は少ない。再訪問が多く、県外からもあり。一定の評価もされている様子。

古賀市で考えてみると、経費のことを考慮して、保育所連盟を中心に簡単な形から立ち上げてみるのがよいのではと思う。なお、古賀市ではこども子育て会議もせっかく設置されているので、待機児童対策としてそこにこの課題を研究してもらうことも一つの手ではないかとも認識する。

支出内訳書の番号 1-B

調査研究報告書

1 名称	沖縄県宜野湾市「シルバーバスポート事業」視察
2 目的	高齢者の引きこもりを防止し、外へ出ることにより健康づくり・生きがいづくりに繋げている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日(火)
4 実施場所	沖縄県宜野湾市
5 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6 その他	説明していただいた長澤氏は保健師の資格を有し、分かりやすい内容であった。(別紙報告書あり)

沖縄県宜野湾市行政視察報告

平成26年4月22日(火)

テーマ：シルバーパスポート事業について

はじめに議会事務局 宮城事務局長より挨拶と宜野湾市についての市勢、概要について説明があった。引き続き宜野湾市役所 健康推進部 介護長寿課 長寿支援係 長浜係長より標題のシルバーパスポート事業について説明があった。

事業実施の経過では、敬老祝い金からの同事業への移行のいきさつ、流れの説明があり、事業目的として高齢者の引きこもりを防止し地域活動への転換を促すことによって、健康なお年寄りの創出と、健康寿命の延長を促進させることが狙いとのこと。

内容としては、満65歳以上の市民へ、シルバーパスポートカードを渡し、公共施設利用の免除あるいは減免や、市の主催の各種イベント（6月恒例の沖縄舞踊のイベントが入場無料など）の割引などの実施がある。満75歳以上は市内の民間運営の施設にて利用できるシルバーパスポート利用割引券を交付し、健康づくりに利用していただいている。

交付方法は、通知文で該当者に送り、自治会事務所や市役所窓口にて受け渡し。クーポン券は毎年度発行し、有効期限付きで1月500円の12か月分発行。全体予算は平成26年度で1731万。クーポン券を利用された施設は商工会を通して請求・換金。協力事業者は77事業者。美容・理容事業者の登録が多いが、薬局・タクシーの利用が多い。

○ 今後の課題としては、交通手段のバスへの適用が難しく、詳細な効果が見えず評価・分析の仕方の検討が必要。市の全体のこれ以下率は15.6パーセントでかなり低い。が、事業費の上昇は大きな課題で、対象者の見直しも検討中。外出支援が目的なので、介護予防の施設や行事へ行く移動手段に使えるようなものに考えていきたいとのこと。

○ 祝い金としては100歳以上と白寿、米寿には別に交付している。古賀市においては、高齢化率はかなり早く進行すると思われるため、予算のことを考慮すれば、クーポン券の発行は難しいのではないかとも思えるが、企業・事業所が多いことから、ボランティア的な認識を持っていただき企業サービスの部分で、できる範囲内でのお願いをしていくことは可能だとも考えられる。予算がかからず、

家の外へ連れ出す方策は必要だとも思う。古賀市では、外出支援はポイント制にしているが、利用が少なく一捻り仕掛けが必要だ。

支出内訳書の番号 1 - C	
調査研究報告書	
1 名称	沖縄県那覇市 首里公民館視察
2、目的	公民館活動について
3、実施期間	平成26年4月22日
4、実施場所	那覇市首里公民館
5、参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6、その他	報告書のとおり

視察報告書

平成26年5月7日

1、視察日

平成26年4月22日

2、視察地

沖縄県那覇市 首里公民館

3、視察対応者

館長 比嘉徳広

4、参加者

飯尾助広 西尾耕治 船越義彰 姉川さつき 芝尾郁恵

6、視察目的

公民館活動について

7、視察内容

①那覇市首里公民館の概要

- ・ 那覇市にある7箇所の公民館のうち3番目に建築され開館31年目を迎える。市内の公民館で一番大きく、大ホールも一番広い。
- ・ 第66回文部科学省優良公民館表彰を受賞（2回目）
- ・ 定期利用団体92団体、市内の公民館で2番目に多い。
- ・ 常設の学習スペースを2ヶ所あり、公民館併設、公民館講座用に畑を備えている。
- ・ 職員体制 館長を含め5名体制
休館日 国民の祝日、慰霊の日（6月23日）、年末年始
開館時間午前9：00～午後10：00

②公民館活動（年齢にあわせた講座がおこなわれている）

- ・ 成人講座 「琉球ヒストリー」ほか1講座
- ・ 市民講座 「海の日記念 親子ふれあい」ほか3講座
- ・ 乳幼児学級「こっこママクラブ」
- ・ 高齢者学級「守礼大学 移動セミナー」ほか1講座
- ・ 青年のための講座・交流事業 「多様な性を学ぶ」
- ・ 家庭教育学級「子どもの世界をのぞいてみよう」
- ・ 親子ふれあい教室「親子で畑人 ジャガイモを育てよう」

③地域交流

- ・ 夕涼みまつり サークルと地域との交流
- ・ 公民館まつり 前夜祭 ダンスパーティ 展示発表会
小学生の総合学習発表、健康相談コーナー
フォークダンスのつどい カラオケのつどい

ファッションショー、チャリティバザーほか
・新春ウォーキング 「国王の識名園行幸道筋をたどる」

8、まとめ

- ①公民館の施設視察、概要をお聞きしました。
- ②講座数が多く、年齢に応じた講座が開かれ、また地域の歴史に絡んだ事業が多い
- ③地域交流は地域とサークル、地域と子どもなど盛んである
- ④公民館の運営・企画は職員のほか NPO 法人、サークルでおこなわれ相互の連携が非常にいいと感じた
- ⑤休日は基本的には年中無休でありサークル、学習、図書館と利用者が多い
- ⑥公民館に畑があるのは珍しく親子、高齢者など有効に使われている

以上

支出内訳書の番号 1-D

調査研究報告書

1 名称	沖縄県宜野湾市 那覇商工会議所視察
2 目的	東京での講演会をライブ中継する「夕学（せきがく）講座」、その他の事業で地域経済の活性化を図っている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日（火）
4 実施場所	沖縄県那覇市
5 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6 その他	那覇商工会議所は観光、建設部会が多く、ものづくり（工業系）が少ない状況であった。（別紙報告書あり）

那覇商工会議所事業視察報告

平成26年4月22日(火)

総務部 福地次長より説明を受ける。3700名の会員で構成、9部会で活動、中でも、観光サービス部会・建設部会・小売業部会が主になっており、工業（ものづくり）が弱いのが課題。

（
○
）
続いて今回のメインテーマの「夕学講座（せきがくこうざ）」について説明を受ける。10年ほど前から、民間の研修機関 慶応丸の内シティキャンパスによって、東京で講演会が行われており、それをライブでインターネット配信で、商工会の中で放送するもの。年間16本ほど開催。同時中継のため地理的な状況を克服し、那覇市からの助成もあり。18時30分から始まり約2時間、講演の終了後にFAXで質問も出せる。平均20名が参加。100名まで受け入れ可能。受講料は1講演に1000円。年間25万ほどの経費が掛かる。録画は不可。臨場感があるとの感想。

（
○
）
その他事業として、成人病検診への支援・啓発なども行っている。大きな事業としては、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の策定に参加、那覇空港滑走路増設の早期着工の働きかけ、那覇港湾の整備促進、読売巨人軍那覇協力会活動の推進、沖縄科学技術大学院大学の

開学に向け周辺整備の要請活動などを県と協力しながら行っており、地元の那覇市役所や市議会とはあまり交流は無いとのこと。

場所柄、観光協会のほうが勢力は強く、台湾との交流が深いとのこと。改正沖縄振興特別措置法が4月1日より施行され、影響はあり、プラスにはなるとのこと。

古賀市でこの夕学講座の開催は可能だとは思われるが、スケール
○ メリットを考慮すれば、近隣の商工会との共同事業にした方が面白いのではと考える。特に若手経営者の所属する青年部が中心となって進める方がよいのではとも思った。また、市役所の若手職員にも自己啓発の観点から参加を促すことも、人材育成の意味でも面白いのではと感じた。

○

支出内訳書の番号 2-A

調査研究報告書

1 名称	精神障害者自立支援施設「サンマリーナ」(社会福祉法人JHC板橋会) 視察
2 目的	日本で初めてのクラブハウス方式の施設の運営、過渡的雇用について視察するため
3 実施時期	平成26年5月27日(火)
4 実施場所	東京都板橋区南常盤台
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	毎日行っているミーティングに参加させていただき、具体的な状況が確認できた。(別紙報告書あり)

精神障害者自立支援施設「サン・マリーナ」(社会福祉法人 JHC 板橋会) 視察研修報告書

視察日時 平成26年5月27日(火) 10時より

視察地 東京都板橋区南常盤台 精神障害者自立支援施設「サン・マリーナ」

視察目的 クラブハウス方式の運営、過渡的雇用の実施について

参加者 西尾耕治 飯尾助広 船越義彰

視察内容

施設に伺うとまず受付にて訪問者は住所、名前を記帳し施設入館料として50円を払う。受付にはメンバーの方が早速対応している。一連の挨拶の後、会議方式で説明が始まり、司会もタイムキーパーもメンバーが行い、職員がフォローしている。

はじめに、主催者より挨拶、板橋区福祉部障がい者福祉課長 坂井氏、サン・マリーナ諮問委員会(施設の運営をサポートする地域の方達のグループ)の依田禎子委員長・伊藤恵子委員、JHC板橋会の寺谷隆子理事長より挨拶され、それを受け訪問したこちらからも三人全員が挨拶をおこなった。

次に、参加者のメンバー、スタッフ、挨拶した全員でそれぞれが自己紹介と気分調べということで今の気持ちの状況を発表。なおこれは毎日同施設では行われており、そこに自分たちが参加させていただいてる様子。

次にオリエンテーションということで施設の概要と運営の状況を西根施設長より説明があった。日本で初めてのクラブハウス方式の施設、同方式は1940年代にアメリカで誕生し欧米を中心に世界で約330カ所、日本では6カ所、サン・マリーナは1992年から板橋区単独事業として運営、施設は会員登録したメンバーが自主

的に運営する場所となっている。

活動は、ランチ・喫茶、事務、相談援助、教育研修、一定の期間に実際の職場で働く過渡的雇用などがある。ほかに友愛訪問、諮問委員会などについての説明があった。

次にメンバーの二人の方から過渡的雇用に関しての体験談の発表、浅見さんからはウォールストリートジャーナルジャパンでの報告、富沢さんからはベーカーアンドマッケンジー法律事務所での活動報告。また、ちょうど施設に来られた遠藤さんからは帝京大学の講師として活動状況の報告があった。最後に感想と色紙にメッセージを求められ、各自所感を述べた。

(
○
このような施設が自主的に運営されていることには大変感銘を受け、地域とのつながり、行政からの支援は古賀市においても参考にすべきだと感じた。古賀市内にはこのような比較的大きな施設はないが、対象になる方は少なくないとも思われることから、近隣の自治体まで視野に入れて協力体制の構築は行っていくべきだろうとも思う。

(
○

支出内訳書の番号 2-B

調査研究報告書

1 名称	東京都板橋区ハッピーロード大山商店街振興組合、全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」視察
2 目的	空き店舗の活用（全国の自治体と連携してアンテナショップとして利用）について視察するため
3 実施時期	平成26年5月27日（火）
4 実施場所	東京都板橋区大山町 ハッピーロード大山商店街
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	経済産業省等から表彰を多く受けており、地方の自治体との連携が面白いと感じた。（別紙報告書あり）

視察報告書

平成26年6月2日

1、視察日

平成26年5月27日（火）

2、視察地

東京都板橋区

ハッピーロード大山商店街振興組合

3、視察目的

空き家店舗の活用（アンテナショップ）について

4、参加者

飯尾助広、西尾耕治、船越義彰

5、視察内容

- ・ 振興組合石川理事長より説明を受けた。
- ・ 商店街の課題として業種の隔たり、後継者不足、マーケットのずれ、若者の商店街離れ、建物の老朽化、防火対策等がある。
- ・ 道路とまちづくり（再開発）について
- ・ 大山周辺の状況、商店街の概要、商店街の歴史、商店街の組織、活動の実施状況と予算、コミュニティとしての役割、安心安全・環境への対応
- ・ 全国ふるさとふれあショップ「とれたて村」の目的とコンセプト、事業内容、運営状況、
- ・ ふるさとイベント交流事業（各自治体との）について

6、所感

古い商店街をいかに活用し活性化するか、いたるところに取組の工夫が見られた。本来シャッター通りとなってもおかしくないところを、役員、商店街の人が一生懸命守っている実感がした。全国15自治体との連携、出店については非常に興味深かった。古賀市の商店街と違うのは都市の規模というか小さな地域でも多くの住民が住んでおり、何か面白い企画があれば気軽に出かけてくる、それが多くの人を呼べるということか。古賀市も企業群と商店街の連携で何か面白い企画ができるのではないかな。

支出内訳書の番号 2-C

調査研究報告書

1 名称	東京都板橋区くらしと観光課視察 (産業観光資源整備事業補助金)
2 目的	区内の企業による区民への見学、研修に対し、備品(ヘルメット)等の補助を行っている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年5月27日(火)
4 実施場所	東京都板橋区役所くらしと観光課
5 参加者	西尾、飯尾、松越議員
6 その他	別紙報告書あり

視察報告書

平成 年 月 日

○視察日

平成 26 年 5 月 27 日 (火)

○視察地

東京都板橋区役所くらしと観光課

○視察目的

観光と産業の結びつきをどのようにするのか

○視察対応者 東京都板橋区 くらしと観光課長 新井 悟 氏

○産業観光補助事業について

○視察内容

板橋区は東京 23 区の中で製造工場が多く出荷額では (国内) 第二位となっている工場の集積地でありこれを地域の魅力として売り出そうという計画が始まった。これらの製造工程を公開し観光化すれば新たな魅力となるのではとの発案で産業観光整備事業をスタートさせた。

くらしと観光課の野口様・河合俊様に説明いただき質問にも答えて頂きました。

工場は生活に欠かせない製品を作る大切な場所。理解を深めてもらうことにより人と産業とともに生きる街づくりを目指したい。工場の操業環境悪化への歯止め、企業としては板橋区でこんなに素晴らしいものを作っているんだということを多くの人に知ってもらいたいということを趣旨としている。

○主な実施事業

①産業観光バスツアー 40名 平成21年3月 市場・製造工場2社見学

②クラフィックガーデン見学 20名 平成25年

③水再生センター他見学 24名 平成26年10月20日

④産業観光センター散策ツアー 10名 平成23年2月

食品製造会社・植物園 ツアー 10名 平成23年2月

中野製果・林エージェンシー 10名 平成25年12月

○加応募が増加していて抽選で参加者を決めるようになってきている。現在は27社の協力で普段は見ることのできないような工場内の見学を実施しているそうです。各企業での「ものづくりにたいする熱い思いなど」魅力を感じて頂いているようです。古賀市も県内有数の製造業があり金属・食品製造他優秀な企業があります。これらの工場を板橋区のように古賀市の魅力としてアピールする方法として、工場見学ツアーなどの企画も有効と思われます。工場見学を通じ市民の皆様に古賀の魅力をお知らせし、さらなる工場の活性化が図れるのではないかと感じました。

○

支出内訳書の番号 2-D

調査研究報告書

1 名称	東京都新宿区 落合三世代交流サロン視察
2 目的	多世代間の交流事業やイベント、開設までの成り立ちなどの状況を視察するため
3 実施時期	平成26年5月28日(水)
4 実施場所	東京都板橋区西落合
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	3年間のワークショップで入念に計画を立てていき、都会的な多世代間の交流事業であった。(別紙報告書あり)

落合三世代交流サロン視察研修報告書

視察日時 平成26年5月28日(水) 10時より

視察地 東京都新宿区西落合

視察目的 施設の成り立ち、実際の運営の状況について

参加者 西尾耕治 飯尾助広 船越義彰

視察内容

同施設の運営団体の落合三世代交流を育てる会の大橋隆代表、佐藤千枝子副代表、山田事務局長らに correspond していただき、新宿区役所からも子ども家庭部子育て支援課長の北沢聖子課長・谷口奈々主任主事も参加していただいた。

平成17年に敬老会のことぶき会館の廃止に伴い、平成18年にワークショップが立ち上がり、3年間の十分な会議を重ね、多世代間の地域の人たちが集えるコンセプトで平成21年に開設。

もともと管理主体が区役所の子ども家庭部だったため、敬老会が通常望むようなカラオケ、お風呂やマッサージ機材は設置せず、子供と高齢者の接点を多く持つような施設、インテリア、備品の設置をしているとのこと。火曜日にはカフェで高齢者のグループがつどい、イベントは夏まつり、わんぱくまつりが開催されている。ここでは児童館ではないのでゲームができるとのこと。また総合学習の一つとして餅を焼いたりして学校との連携を取っている。自治会の役員は絡んでおらずあくまでも施設としての運営は独自性を持たせている様子。

同じ建物には上階には児童館、下の階にはこども園があり、上下からこどもや保護者が訪れるとのこと。大きなエレベーターが設置されており障がい者も利用されている。施設利用ではサークルはオープンで、希望者はすべて受け入れている。

運営委員会のメンバーはボランティアで、区からの補助は年間約1000万でほとんどは事務局長などの職員の人件費。月に1回運営委員会があり、区役所の職員と児童館の館長も入るが、職員からはアドバイスぐらいで運営委員会の自主運営になっている。

古賀市においてはかつて舞の里で似たようなコンセプトでの施設の計画もあったが、諸処事情により中止になったこともあり、今後施設を中心とした開設は難しいのではないかと思われる。古賀市では地域コミュニティがかなり活発になってきているのでその人的つながりを中心とした組織で進めていくほうが賢明だと考える。また、市内の関係機関が意識していただければなおいっそう進められるのではないかと感じた。

支出内訳書の番号 3 - A

調査研究報告書

1 名称	岡山県総社市視察
2 目的	①障がい者千人雇用、②新生活交通「雪舟くん」(デマンド型公共交通システム)について視察するため
3 実施時期	平成26年8月6日(水) 14時～16時30分
4 実施場所	岡山県総社市役所
5 参加者	西尾、芝尾、姉川、船越、飯尾議員
6 その他	全国的にも知られている政策を2件とも視察させていただいた。また、事業所にも訪問させていただいた。(別紙報告書あり)

岡山県総社市視察報告

平成26年8月6日（水）14時～16時30分

1、「障がい者千人雇用」の取り組みについて

はじめに、議会事務局の守安事務局長より、総社市の概要について説明あり。人口6,8万人で近年は微増。吉備文化発祥の地、備中国府跡があるであろうとの伝承あり。全国の中で大きさが10番目の前方後円墳もある。桃太郎伝説の鬼ノ城（きのじょう）には鬼がいたとの話もあり。水墨画の雪舟の出生地。産業は三菱自動車の部品工場、ヤマザキ、紀文などがあり工業都市として発展。岡山市から30分のベッドタウンとしても位置付けられている。

事務局長の説明ののち、保健福祉部の渡辺次長、弓取主幹、吉田主事より本テーマについて説明があった。内容については、障がい者千人雇用についてのきっかけから、定義、現在の市内における障がい者数、1000人の考え方、障がい者千人雇用の現状、千人のカウント基準、精神障がい者と発達障がい者の位置づけ、総社支流の特色ある取り組みについて、「障がい者千人雇用委員会」の設置、障がい者千人雇用推進条例の制定・施行（平成23年12月）、市民

の方への障がい者雇用のアピール、市民・企業への啓発、市長のトップセールス、広報活動（広報そうじゃにおいて表紙・特集を繰り返す）による障がい者の雇用のアピール、商工会議所との協定締結（平成23年10月）、障がい者を対象とした就職面接会の実施、ハローワークとの連携による就労支援ルームの運営、障がい者千人雇用センターの設置（平成24年4月）、市外の障がい者も登録可能の件、関係機関との連携、農作物全量買い取り制度の活用、デマンド型公共交通「雪舟くん」の有効利用、ケアホーム「今日も元気」の開所（平成25年1月）、福祉的就労から一般就労への移行が大きな目的、障がい者も含めて市民全体が、「生涯 働く」ことを一番に重点を置いている、などのことについて詳細な説明があった。

質問では、費用・補助について、企業・事業所へのアプローチ、雇用開発協会について、市役所内の職員の状況について、広報の写真について、担当課内の職務について、ネーミング・条例について、給与について、農作物全量買い取り制度との関係について、千人のカウント基準について、などの事柄について質疑応答があった。

古賀市では障がい者手帳を所持する市民が約2700人ほどおられるので、750～800人の方たちを目標にしているような感じだ

と思われる。福祉施設や社会福祉協議会にお任せして置くだけではなく、市のトップである市長自らこの課題に取り組むことが大切であり、また、議会においても積極的に施策を進める支援を行うことが重要であると認識した。

2、総社市新生活交通「雪舟くん」について

市民環境部の人権・まちづくり課の別府係長、仁科主任より説明があった。「雪舟くん」の導入までの経緯、コミュニティバス「こまわりくん」から「雪舟くん」への移行、交通体系の見直し方針について、導入前の市民へのアンケート調査、導入前の交通体系、導入前後の交通体系と予算、「雪舟くん」の概要、利用状況、利用者・未利用者へのアンケート調査、「雪舟くん」の運行見直し、などのほか、車種について（ハイエース8人乗り4台、ノア5人乗り5台）、使い方がほとんどタクシーと同じことで1回300円、乗合になっている、8時頃が中心地に向かうことが多いこと、市役所がいている時間のみ運行、遠いところで40分かかる、登録制、配車は5人のオペレーターで対応、システムはNTTのデマンド交通用のパッケージを使用、などの詳細な説明があった。

質問では、配車係について、運行管理・委託について、通勤・通学の市民との兼ね合い、経費について、ネーミングについて、地域的なことについて、などのやり取りがあった。

古賀市では、現在西鉄バスへの補助により公共交通の施策は補ってはいるが、利用者が減っていけば補助金をあげていくしか方法はとれず、利用者を増やすか、どこかの時点でコミュニティバスか、デマンドシステムか、ボランティアによる運営に変更していくかあるいはそれらのいずれかの複合型による運営かが課題だとは思うが、経費の事もあり、どうしても慎重になるところは一定の理解はできる。が、わが市においても、高齢化は急速に進んでいくことと思われることから、早急に方向性を打ち出すことが重要だと考える。

支出内訳書の番号 3 - B

調査研究報告書

1 名称	岡山市 JR岡山駅西口奉還町商店街振興組合視察
2 目的	商店街のにぎわいづくりと空き店舗対策について視察するため
3 実施時期	平成26年8月7日(木) 10時30分～12時
4 実施場所	岡山市北区奉還町2丁目「奉還町りぶら」
5 参加者	西尾、芝尾、姉川、松越、飯尾議員
6 その他	岸理事より説明を受け、商店街内も見学させていただいた。 (別紙報告書あり)

岡山市奉還町商店街振興組合視察

平成26年8月7日（木）10時30分～12時

商店街のにぎわいづくりについて

報告者 西尾耕治

はじめに、岸理事長より、商店街の概要、歴史、名前の由来、御自身が北九州大学卒業であることなども含めてあいさつがあった。そして本題である内容の説明に入った。

岡山市内の三つの商店街の中でも下町の雰囲気があること、近年の郊外の大型スーパーや大型専門店の増加、職種がドラッグストア・チェーン店化、飲食店の増加などの要因、後継者不足・若者離れ・経営者の高齢化の問題、倉敷市の大型のイオン・アリオ・三井アウトレットモールによる影響、奉還町商店街の基盤整備事業、コミュニティ施設「りぶら」の開設・用途・目的・利用状況などについて、岡山駅西口の開発について、中小企業庁の「がんばる商店街77選」のアイデア部門に選出されたこと、地域連携イベントの奉還町マップの作成・浪漫ティック奉還祭（7月の最終土曜日開催）・ウエストサイドミキサー（奉還町アート商店街、8月に開催）、年間

イベントとして「奉還百縁日」・「土曜夜市」・「ハロウィーン祭り」・「奉還町腕ずもう大会」・「歳末イベント」・「音楽イベント」・サッカーチームの「ファジアーノ応援イベント」などの開催について、岡山市の商店街連合会のイベント「ゴールデンフェスタ岡山」・「ええじゃないか岡山大誓文払い」とのかかわり、地元の岡山工業高校や大学の先生・小学校・中学校などの教育機関や企業・事業所・近隣の商店街との連携、今後の商店街の在り方、12月までにコンセプトを打ち出していくこと、マスコミへのアピール、イベントに頼らないで人手を創出する工夫、などについて詳細な説明があった。

質問では、学校を巻き込んだ事業について、ウエストサイドカーニバルについて、ご当地アイドルについて、岡山県立工業高校との関係、マスコミとの関係、商工会青年部・婦人部について、「りぶら」の利用状況・カルチャー教室について、地権者と今後のコンセプトについて、空き店舗について、土曜夜市のクレーム・今後の課題について、などの質疑応答があった。

その後、現地を理事長とともに見学させていただいた。

古賀市と比較するとかなりのイベントの開催回数が圧倒的に違いがあり、何かをやり続けることが大事だという岸理事長からの話を

聞けば、成功している事例を目の当たりにすれば納得はする。が、中心者の決意と情熱と行動力が必要のため、古賀市においてはまず、人材の確保とアドバイスが必要であり、あくまでも事業者が中心となり自主的な運営する組織の強化に力を入れるべきだろうと考える。特に、商工会青年部や料飲店組合青年部などの各種団体の若手グループの活用が重要になってくるのではと感じた。

支出内訳書の番号 3 - C

調査研究報告書

1 名称	岡山県立図書館視察
2 目的	8年連続入館者数日本一の施策について視察するため
3 実施時期	平成26年8月7日(木) 13時30分～15時
4 実施場所	岡山市北区丸の内 県立図書館
5 参加者	西尾、芝尾、姉川、船越、飯尾議員
6 その他	三村館長より説明を受け、館内の施設も見学させていただいた。(別紙報告書あり)

岡山県立図書館

視察報告書

平成 26 年 月 日

○ 視察日 平成 26 年 月 日

○ 視察地 岡山県立図書館

○ 施設対応者 図書館長

○ 視察目的

入館数 1000 万人突破 8 年連続日本一の人気の理由を探り古賀市の図書
行政に役立てる

○ 参加者

西尾 耕治、 芝尾 郁恵、

船越 義彰、 飯尾 助広、 姉川 さつき

○ 視察内容

岡山県立図書館は 開館からの入館者数予想を一日平均 2800 人と見込んでいたが 3524 人が来館した。当初見込みの約 1.6 倍であった。

平成 16 年 9 月にオープンした県立図書館は年間入館者集も予想より多かったが、個人貸出冊数が 100 万冊を超えるという県民の図書館として多くの県民に利用されているという。

その人気の理由を館長さんより説明していただきました。主な理由は豊富な資料と専門職員のきめ細やかなサービスやイベント開催によるものだとの説明でした。

- 1) 全国で出版される新刊の約7割、児童書はすべての新刊を購入している。
- 2) 乳幼児や高齢者などのサービスが受けられない人にもバランスのよいサービスを提供する。
- 3) 直接来館者へのサービスにとどまらず、インターネット予約、貸出にも力を入れている。
- 4) 地域での県民の窓口となる市町村立図書館員の資質向上のための研修事業にも取り組んでいる。
- 5) 一年に一回のアンケート調査によると満足度はかなり高いものであった。

書庫内の見学も案内していただきました。本でいっぱいの中でも本の整理や修理などでたくさんの方が働いておられました。新館開館から10年の節目を迎えるが今後も新鮮で幅広い資料の用意をしていき、県民から愛される図書館であり続けたいとの力強い館長のお言葉でした。

わが古賀市の図書館も市立図書館としてはかなり充実していますが、さらなる

充実をめざしもっともっと市民の利用を呼び掛けていう必要があると思う。

